

令和7年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろから、本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、4月17日に実施されました全国学力・学習状況調査の結果につきまして、全国および全道の平均と比較しながら、本校6年生全体の傾向について、ご報告いたします。中学校進学を見据え、7月に配付した個人票と併せて、ご家庭での学習の参考資料としてご活用いただければ幸いです。

1 教科に関する調査の結果

(1) 国語

< 概要 >

国語の平均正答率は、全国平均を大きく上回る結果となりました。

領域別に見ると、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」において、良い結果となっています。他の領域についても、全国平均を大きく下回るものではなく、全体的に良好な結果となりました。

< よくできていた問題 >

- ①自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうかをみる問題。
- ②話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題。
- ③学年別漢字配当表に示されている漢字を、文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題。
- ④時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができるかどうかをみる問題。
- ⑤目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる問題。

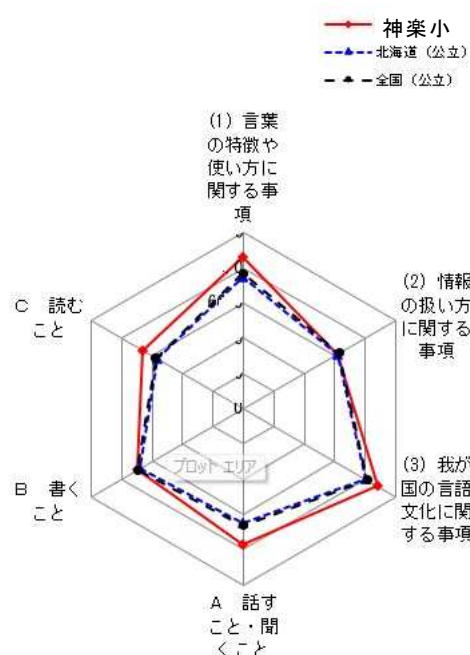
< 課題の見られた問題 >

- ①図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題。
- ②目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題。
- ③情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができるかどうかをみる問題。

< 改善策 >

- ①引用や図表・グラフを活用した文章を書く活動を取り入れる。
- ②目的や意図に応じて、簡潔に記述したり詳細に記述したりするなど、書き表し方を工夫しながら自分の考えを文章にまとめる活動を取り入れる。
- ③情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことを通して、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりする話し合い活動を取り入れる。

学習指導要領の領域別の平均正答率の状況



(2) 算数

< 概要 >

算数の平均正答率は、全国平均をわずかに上回る結果となりました。

領域別で見ると、「変化と関係」、「図形」で、全国平均よりも良い結果となりました。他の領域についても、全国平均を大きく下回るものではなく、概ね良好な結果となっています。

問題形式で見ると、記述式の問題において、全国平均よりも良い結果となりました。

< よくできていた問題 >

- ①平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができるかどうかをみる問題。
- ②台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題。
- ③基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題。

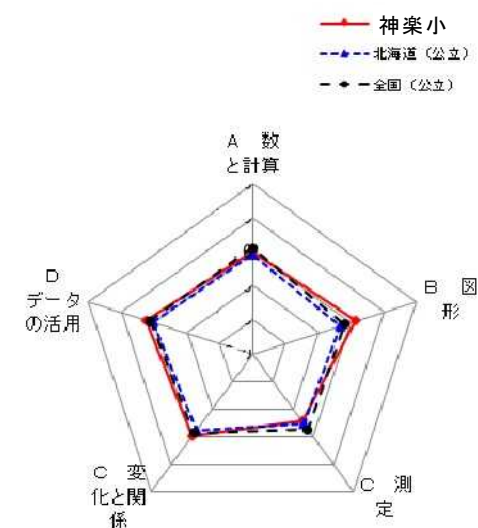
< 課題の見られた問題 >

- ①はかりの目盛りを読むことができるかどうかをみる問題。
- ②棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができるかどうかをみる問題。
- ③角の大きさについて理解しているかどうかをみる問題。
- ④分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題。

< 改善策 >

- ①示されたはかりの最小目盛りの大きさに着目し、はかりの最小目盛りが何 g であるかを捉え、はかりの針が指している目盛りを正確に読むことができるようにする。
- ②日常の事象について、興味・関心や問題意識に基づき、必要なデータを収集し、棒グラフの項目間の関係を読み取ったり、目的に応じて適切なグラフを選択して考察したり、表から導いた結論の根拠となる数に着目したりする活動を取り入れる。
- ③辺の長さや角の大きさ、辺の位置関係に着目して、図形の構成の仕方を考えたり、図形の性質を基に図形を弁別したりする活動を取り入れる。
- ④小数や分数の加法について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、共通する単位を見いだすことで、整数の加法に帰着して考察する活動を取り入れる。分数の意味や表し方を理解したり、分数の加法の計算をしたりすることができるようにする。

学習指導要領の領域別の平均正答率の状況



（３）理科

<概要>

理科の平均正答率は、全国平均を大きく上回る結果となりました。
領域別で見ても、「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」全ての領域で全国平均よりも良い結果となりました。

<よくできていた問題>

- ①電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる問題。
- ②電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いているかどうかをみる問題。
- ③レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができるかどうかをみる問題。
- ④水の温まり方について、問題に対するまとめを導きだす際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することができるかどうかをみる問題。

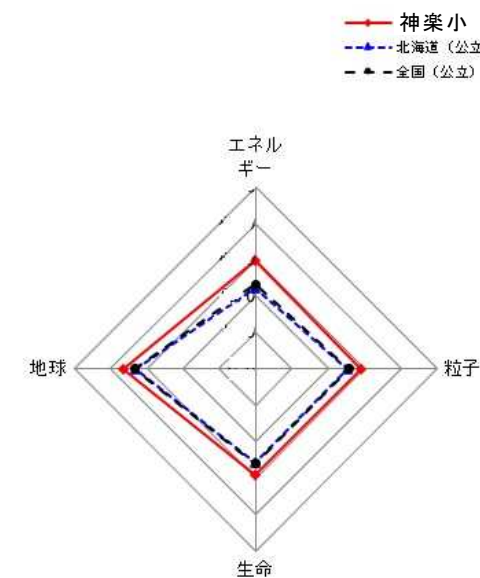
<課題の見られた問題>

- ①身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる問題。
- ②顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いているかどうかをみる問題。

<改善策>

- ①身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることを理解するため、自然の事物・現象と知識を関係付けたり、知識を相互に関連付けたりして、理解を深めることの大切さについて意識した活動を取り入れる。
- ②観察、実験において扱う器具や機器などの適切な操作について理解させるとともに、全ての児童が実験器具の操作を体験できるようにする。

学習指導要領の領域別の平均正答率の状況



2 児童質問調査の結果

<全道・全国と比べて肯定的な回答が多く、良好と思われる項目内容>

【学習に関わること】

- 「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」
「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」
「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」
「5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」
「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」
「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」
「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」
「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」
「国語の授業の内容はよく分かりますか」
「算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか」
「理科の授業の内容はよく分かりますか」
「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」
「理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか」

【自分や他者に関すること】

- 「自分にはよいところがあると思いますか」
「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」
「将来の夢や目標を持っていますか」
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」
「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」
「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」

<全道・全国と比べて肯定的な回答が少なく、学校や家庭で改善が必要と思われる項目内容>

【自分や他者に関すること】

- 「学校に行くのは楽しいですか」
「読書は好きですか」
「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあります(習い事は除く)」

【学習に関すること】

- 「国語の勉強は得意ですか」
「将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか」

ご家庭では、引き続き望ましい環境づくりをお願いします

児童質問調査の回答状況を見ると、ほとんどの項目において、肯定的な回答をした児童の割合が全道・全国の平均を上回る結果となりました。多くの児童が、前向きな気持ちで日々の生活を充実して過ごしている様子がうかがえます。これらの結果を踏まえ、残りの小学校生活をさらに実りあるものにするため、今後も学校・家庭・地域が連携しながら教育活動を推進してまいります。

全国的な傾向として、「基本的な生活習慣や家庭学習の習慣が身に付いている」「規則や決まりを守ろうとしている」「物事に前向きに取り組もうとしている」「他者のことを考えようとしている」といった姿勢をもつ児童ほど、学力が高い傾向が見られます。また、「読書への意欲が高い」児童は、読解力の伸びも顕著です。

こうした力を確実に育てていくために、ご家庭におかれましては、「**家庭学習や読書の時間の確保**」「**ゲームやスマートフォン等の利用に関するルールづくり**」について、引き続きご協力をお願いいたします。

課題の見られた問題

【国語】

①図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題。

- 1 読んでほしい順序を明確にして、時間の流れに沿って書いている。
- 2 伝えたいことの中心を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いている。
- 3 文章の筋道が整うように、原因と結果を明らかにして書いている。
- 4 読み手の目的に応じて読めるように、使い方の手順に沿って書いている。
- 5 二 山田さんは、の中で、手ぬぐいのもようについて言葉と図で説明しています。その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。
- 1 言葉に關係のない図を示すことで、別のものについての興味を高めるため。
- 2 二つの図を並べて示すことで、もようの移り変わりを明確にするため。
- 3 言葉と図を合わせて示すことで、具体的に内容を理解できるようにするため。
- 4 言葉と図を比べて示すことで、疑問点を明確にするため。

小图-6

【ちらし】

手ぬぐい

手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。
そのよさとは、どのようなものでしょう。

よさ1 もよう

さまざまなもようがあり、好きなもようを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。

季節を感じるもよう

手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたもようがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。

しゅみや好きなものに合わせたもよう

スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手のアこみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

よさ2 使い方

手などをふくだけではなく、身に着けたり、物を包んだりすることもできます。

身に着ける使い方

いあつ日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事がしやすくなります。

物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。
みなさんでもぜひ使ってみてください。

2 山田さんの学級では、伝統工芸品についてすいせんするちらしを書くことにしました。山田さんは、手ぬぐいのよさについてすいせんする文章を、次の「ちらし」に書いています。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

小図-5

②目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題。

物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

↓

物を包む使い方

62°F

130°F

※上の原稿用紙に下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。
 解答は、解答用紙に書きましょう。
 ※◆の印から横書きで書きましょう。どちらうで行を変えないで、
 続けて書きましょう。

○「ちらし」の――部を書き直し、くわしくすること。(一文でなくてもよい。)

○「調べたこと」の(本を読んでは分かったこと)と(使つてみて分かったこと)のそれぞれから言葉や文を取り上げて書くこと。

○六十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【調べたこと】

<本を読んで分かったこと>	<使ってみて分かったこと>
○ブックカバー ・何回か折るだけで、すぐに完成する。 ・本の大きさに合わせて包むことができる。 ○ペットボトルカバー ・ペットボトルを包んで持ち運ぶことができる。	○ブックカバー ・よごれがつくのを防ぐことができてよかった。 ・落としたときに、本がきずづつかなかった。 ○ペットボトルカバー ・水てきが荷物につかなくてよかった。 ・温かい飲み物が冷めにくかった。

三 山田さんは、「ちらし」の書き表し方について友達に相談し、「ちらし」の部をくわしく書いたほうがよいと考え、次の「調べたこと」を見直しました。あなたが山田さんなら、どのように書き直しますか。あとの条件に合わせて書きましょう。



小圖-7

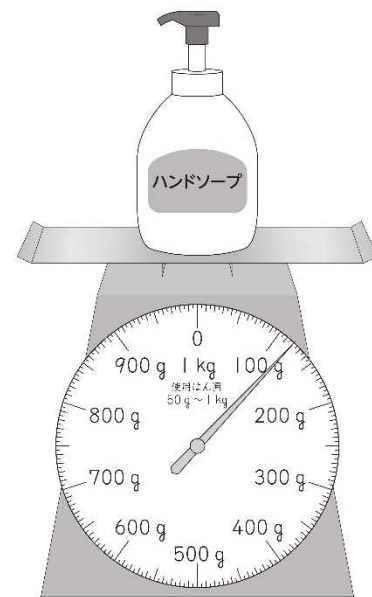
【算数】

①はかりの目盛りを読むことができるかどうかをみる問題。

(3) あさひさんたちは、さらに別の容器のハンドソープの重さを調べています。
そのハンドソープを容器ごとにはかりにのせると、下の図のようになります。

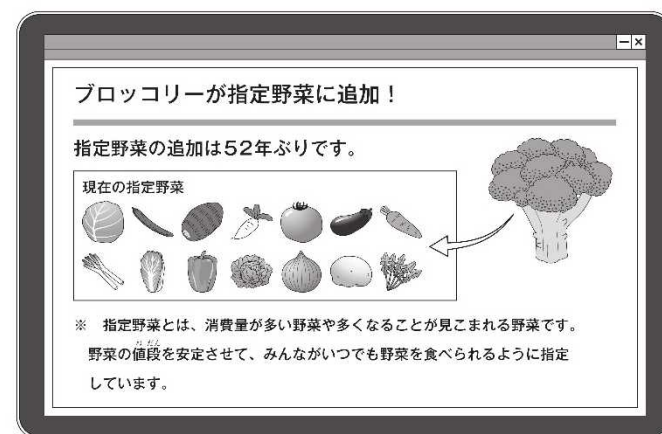
はかりの針が指している目もりは何gですか。

答えを書きましょう。

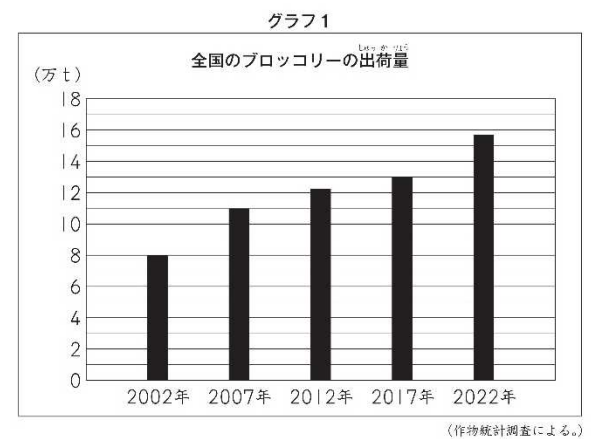


②棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができるかどうかをみる問題。

あいりさんたちは、2026年度からブロッコリーが指定野菜に追加されることをニュースで知り、指定野菜について調べることにしました。



(1) あいりさんは、ブロッコリーについて調べていると、右のグラフ1を見つめました。



グラフ1からわかることを、次のようにまとめます。

2022 年の全国のブロッコリーの出荷量は、2002 年の出荷量の約 7 倍になっています。

上の⑦に入る数を、下の **1** から **4** までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

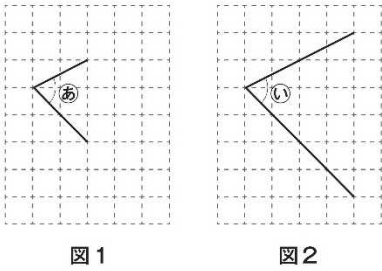
1	0.5
2	2
3	8
4	16

小算-1

小算 - 2

③角の大きさについて理解しているかどうかをみる問題。

(3) わかなさんは、図1の㊸の角と図2の㊹の角の大きさを比べています。
図2の㊹の角をつくっている2つの辺は、図1の㊸の角の2つの辺をそれぞれのはしたものです。



㊸の角と㊹の角の大きさについて、どのようなことがわかりますか。
下の ア から エ までのの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア ㊸の角の大きさのほうが大きい。
イ ㊹の角の大きさのほうが大きい。
ウ ㊸の角と㊹の角の大きさは等しい。
エ ㊸の角と㊹の角の大きさがわからないので、このままでは比べることができない。

④分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題。

ひろとさんたちは、小数や分数のたし算についてふり返っています。

(1) ひろとさんは、 $0.4 + 0.3$ についてまとめています。



0.4 は 0.1 の 4 個分、0.3 は 0.1 の 3 個分です。
0.1 を ㊶として下の図のように表します。

0.4 0.3

㊶ ㊶ ㊶ ㊶ ㊶ ㊶ ㊶

0.1 が 4 個 0.1 が 3 個

$0.4 + 0.3$ の計算は、0.1 をもとにすると、 $4 + 3$ を使って考えることができます。

$0.4 + 0.3$ は、0.1 をもとにする数にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、 $0.4 + 0.05$ について同じようにまとめます。

0.4 は ㊸ の 40 個分、0.05 は ㊸ の 5 個分です。
 $0.4 + 0.05$ の計算は、㊸ をもとにすると、 $40 + 5$ を使って考えることができます。

上の ㊸にはすべて同じ数が入ります。㊸に入る数を書きましょう。

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。
まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ についてまとめています。



$\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 2 個分、 $\frac{1}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 1 個分です。
 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ の計算は、 $\frac{1}{5}$ をもとにすると、 $2 + 1$ を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ は、もとにする数を $\frac{1}{5}$ にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。



$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の 3 個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の 2 個分です。
もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。
もとにする数を同じ数にすると、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

【理科】

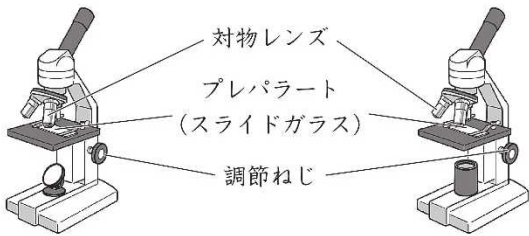
①身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる問題。

(1) アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の 1 から 4 までのの中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでもかまいません。

- 1 電気を通し、磁石に引きつけられる。
2 電気を通し、磁石に引きつけられない。
3 電気を通さず、磁石に引きつけられる。
4 電気を通さず、磁石に引きつけられない。

②顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いているかどうかをみる問題。

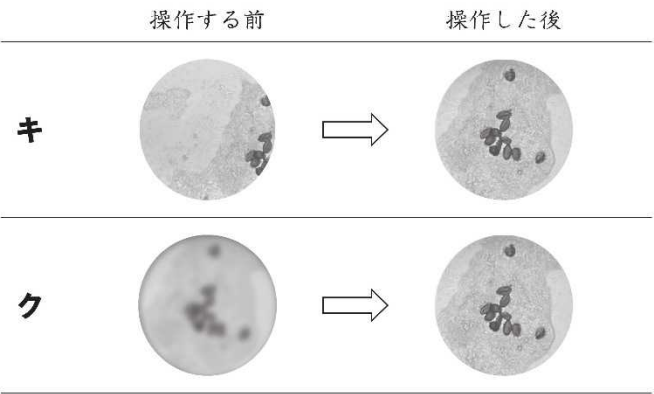
てるみさんたちは、ヘチマの花粉をけんび鏡で観察することにしました。



けんび鏡を操作すると、観察する物の見え方が変わるね。



(2) けんび鏡を操作したとき、キ と ク のように、操作する前と後で見え方が変化しました。キ と ク はどのような操作をしたのか、下の 1 から 4 のの中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。



- 1 対物レンズをちがう倍率のものにした
2 プレパラートを動かした
3 明るさを調節した
4 調節ねじを回した